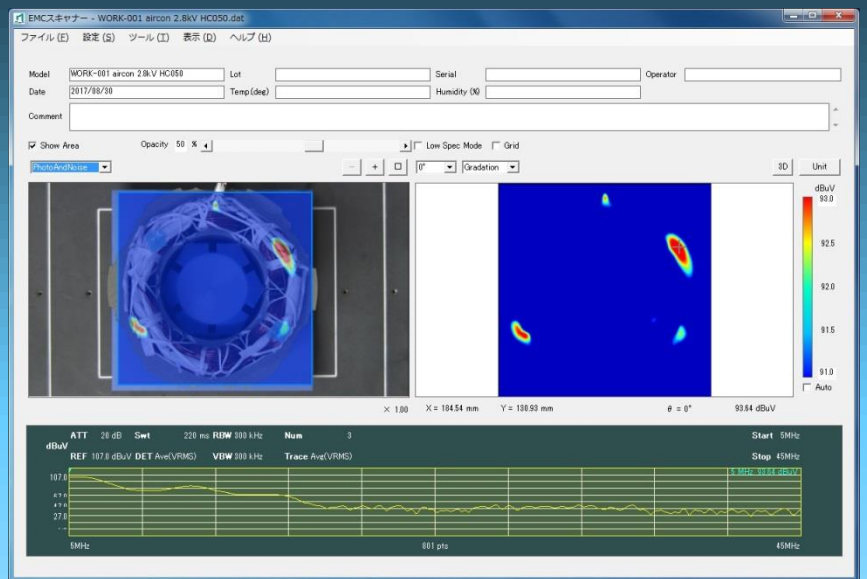
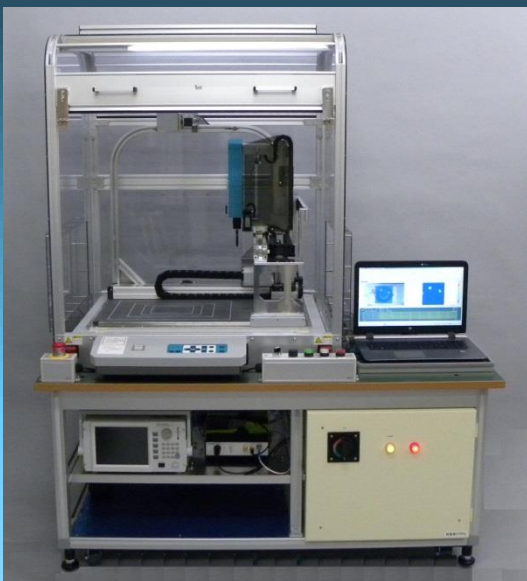


世界で加速する“EVシフト” 高絶縁性能が要求される「モータ・ステータコイル」での 『部分放電可視化』による放電発生箇所特定に

- インパルス巻線試験機の高電圧印加時に発生する「部分放電」による電磁波を検出し、放電発生個所を特定、可視化するシステム
- 部分放電発生個所（電磁波）強度マップとコイル写真を重ね合わせ表示
- 絶縁不良個所の特定が容易
- 高耐サージコイルの試作開発の迅速化、性能向上に寄与
- 不良解析の迅速化、信頼性向上、工程の改善による歩留まり向上に寄与
- インバータモジュールのEMC対策



部分放電可視化システム WM7700 主なシステム構成品:

- WM7000シリーズ 高性能EMCノイズスキャナ
 - WM7300(A3サイズ) 高さ200mm(optionにて250mm)
 - WM7400(A4サイズ) 高さ100mm(optionにて200mm)
- DWX-05PD-VI インパルス部分放電巻線試験機
 - WM7700対応オプション付
 - 電子制御国際社製
- RSA603A リアルタイム・スペクトラム・アナライザ
 - テクトロニクス社製

特許出願中



DWX-05PD-VI



RSA603A

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。